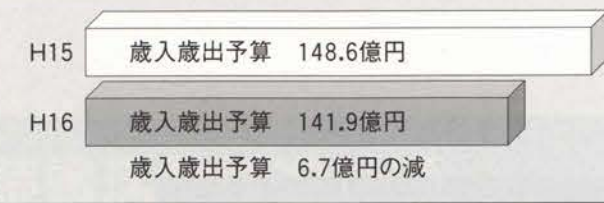


今年の予算

解説

■平成16年度の一般会計予算規模は、約141億8千9百万円で、平成15年度予算と比較して、約6億7千5百万円（マイナス4.5%）の減額となりました。

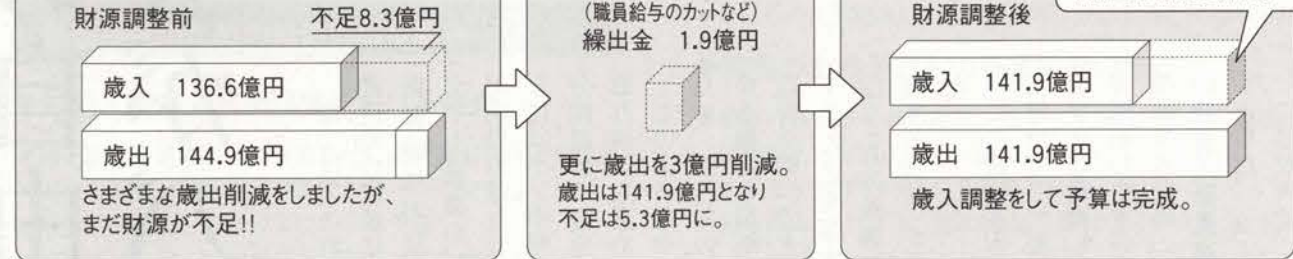
① 昨年度との予算比較



収支の状況

平成16年度の予算編成にあたっては、減少が続く市税や、国の三位一体改革に伴った地方交付税削減の影響により、市税、地方交付税の落ち込みが合わせて約5億円と当初の予想を大幅に上回ったため、あらゆる歳出の削減を図ったにもかかわらず、歳入の減少に歳出の削減が追いつかない状況となりました。結果、約8億3千万円の収支不足となり、人件費や下水道会計への繰出金を更に削減し、各種基金（貯金）や市債（借金）により歳入を補い予算編成を行いました。

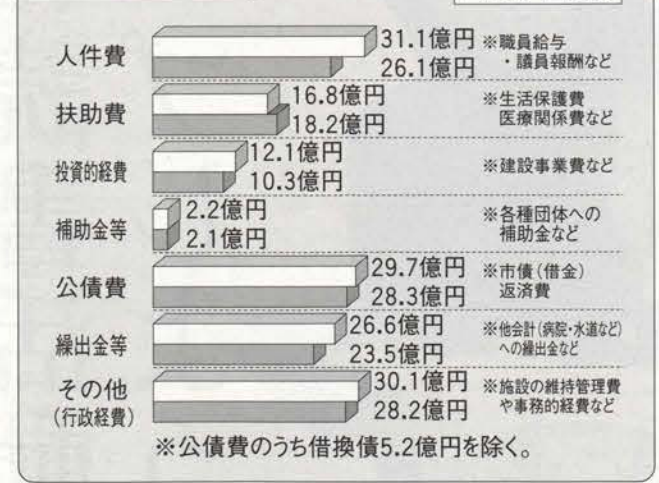
② 財源対策



③ 主な歳入の比較



④ 歳出の比較



歳入の特徴

一般財源(使途が特定されず、自由に使える財源)は前年に比べ4.8億円減少しています。主な理由は、国の三位一体の改革に伴い、所得譲与税として0.4億円ほど税源移譲されたものの地方交付税の削減により4.7億円、さらに市税も0.3億円ほど減少したことによるものです。

歳出の特徴

まずは、徹底的に行政経費を見直した上で、投資的経費(建設事業)や補助金などの政策的経費についても、聖域なく全ての経費について見直しを行い、扶助費(生活保護費や医療関係費など)を除いて全ての経費が前年度と比べてマイナスとなりました。主な内容は、人件費(職員の給与カットなど)が5億円の減少、投資的経費の削減で1.8億円、特別会計に対する繰出金等の減少で3.1億円、各種団体に対する補助金の15%削減を実施したことや、公債費(借金の返済)が1.4億円減少したことによるものです。

※財政状況については、今後も広報誌で詳しく紹介していきます。

【継続】市町村合併事業

一市二町の「歴史と特徴を活かした地域づくり」という広い観点から、市民とともに合併議論を進めていきます。
800万円

【継続】フェリー就航促進事業

留萌港と本州を結ぶフェリー就航は、道北の物流・観光ネットワークの形成、輸送コストの低減、新たな産業基盤の確立などが期待されるため、道北圏にとっては欠かす事の出来ない緊急課題となっています。
178万円



▲H14年、豪華客船 飛鳥が留萌港に寄港

【継続】港湾整備事業

留萌港は、背後圏である道北・道央地域の発展を支える物流拠点港湾として、港湾計画に基づき整備を進めています。今年度4月には、三泊地区マイナス12m耐震岸壁が暫定供用開始の運びとなりました。3万トンクラスの大形船舶の入港が期待されています。
5億7566万円
(21億7480万円)

【継続】港湾整備事業(再掲)

直轄港湾整備事業(再掲)
2億8996万円
(18億8910万円)

【継続】船場公園整備事業

船場公園が、留萌市の交流拠点として、市民や観光客が憩い、集えるコミュニティパークとなるよう整備を行います。今年度は、用地買収と用地分筆測量等を行います。
7000万円

【継続】公共下水道整備事業

衛生的で快適な環境を作り、きれいな海や川を守るため、公共下水道整備を進めます。今年度は、管渠の整備延長2700m、整備面積は12ha。その他、処理場汚泥棟増設を
5億1500万円

行います。

【継続】道路整備事業

市民の日常生活に不可欠な生活道路を、継続的に整備します。今年度の整備予定路線は、次のとおりです。
1億2090万円

- アイトシナイ線/南町25号通り
- 日東団地緊急避難用道路
- 見晴10号通り/千鳥10号通り
- 南5丁目通り/沖見39号通り
- 西5号通り(実施設計)

資料はコチラ

主要施策(しごと)、予算(よさん)などの資料は、市役所1階市政情報コーナーで、ご覧下さい。

お問い合わせはコチラ

主要施策、予算などのお問い合わせは、コチラにお問い合わせ下さい。

留萌市役所企画財政部

しごと：企画調整グループ

☎ 42・1809

よさん：財政グループ

☎ 42・1813

※1 留萌市第4次総合計画
留萌市が、平成9年から18年までの10年間に、どのような「まちづくり」を目指すのかという基本的な方向を明らかにした長期計画のこと。

※2 三位一体改革
国からの国庫補助負担金と地方交付税を削減する代わりに国税から地方税に税源の一部を移譲するという3つの改革を同時に進めること。